

令和7年度 恵庭市学童クラブ自己チェックシート

学童クラブ名: 恵み野旭第2学童クラブ

＜自己チェックの進め方＞

①各学童クラブ単位で、運営の内容について確認します。

②各チェック項目について、育成支援の記録を見ながら振り返ってください。

③その際、別紙の自己チェックリストにある「評価の着眼点」を参考にします。あわせて、運営指針解説書(厚生労働省作成)も参考になります。

④各チェック項目を振り返った結果は、この自己チェックシートに記載します。

「○:できている(評価の着眼点の事項が全てできている)」、「△:一部できている(評価の着眼点の事項が一部できている)」、「×:できていない(評価の着眼点の事項がほとんどできていない)」といった三段階で評価してください。

評価の対象に当てはまらない場合は、「—:該当しない(評価の対象に当てはまらない)」を入力してください。

⑤また、そうした結果のみならず、そうした結論に至った理由等をコメント欄に記載してください。

職員間で評価結果や気づき等を共有する際に役立ちます。

※チェック項目のうち黄色のセルについては、学童クラブの運営主体である学校法人等の責任者(学童クラブ担当者)が回答し、各学童クラブへフィードバックしてください。

I 運営指針第1章、第2章、第7章に対応する項目

大区分	中区分	小区分	チェック項目	結果	コメント	
第1章 総則	1. 趣旨		○「放課後児童クラブ運営指針」の趣旨を理解している。	○	趣旨を理解し、活動の質の向上に取り組んでいる。	
	2. 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)の役割		○学童クラブの役割を理解している。	○	様々な子どもを取り巻く環境と、学童クラブの役割を理解し、支援を行っている。	
	3. 学童クラブにおける育成支援の基本	(1)学童クラブにおける育成支援	○学童クラブにおける育成支援の目的を理解している。	○	遊び及び生活の場として機能することを考え、安心安全な場の提供を行っている。	
		(2)保護者及び関係機関との連携	○保護者や学校等の関係機関と連携している。	○	保護者のお迎え時、アプリの活用で保護者に子どもの様子を伝え、学校とは課題を抱える子どもの情報交流を行っている。	
		(3)学童クラブ支援員等の役割	○学童クラブ支援員及び補助員は、その役割を理解している。	○	子どもの様子など共通の理解を持ち、子どもの支援に携わる全員が同様の役割を担うよう業務を行っている。	
(4)学童クラブの社会的責任		○学童クラブの社会的責任を理解している。	○	地域社会における学童の重要な責任を十分理解し、その責任を果たすことが出来るように職務の遂行に当たっている。		
第7章 職員の資質向上	1. 学童クラブの社会的責任と職場倫理	(1)社会的責任・職場倫理	○学童クラブは社会的信頼を得て育成支援に取り組み、学童クラブ支援員等は仕事を進める上での倫理を自覚し、育成支援の内容の向上に努めている。	○	子どもと接する中で、子どもの人権を尊重し、保護者の気持ちに寄り添い、活動内容の質の向上を図る様に日々研鑽に努めている。	
		(2)法令遵守のための組織的取組	○学童クラブの運営主体は法令を遵守するとともに、すべての学童クラブ支援員等が職場倫理を自覚して職務に当たるよう組織的に取り組んでいる。	○	月1で代表定例会、年1で支援員全体のミーティングを行い、共通認識を持つ機会にしている。	
	2. 要望及び苦情への対応		○子ども及び保護者からの要望や苦情に、迅速に対応する仕組みを整えて対応している。	○	要望や苦情があった時には、支援員の中で共通の理解に立ち、保護者には誠実に対応し、法人の統括者に報告を行っている。	
		3. 事業内容向上への取り組み	(1)職員集団のあり方	○学童クラブ支援員等は、事業内容の向上を目指す職員集団を形成するとともに、事業内容を向上させるように努めている。	○	支援員の質の向上を図る事に努力をし、ミーティング・合同ミーティングなどを行っている。
			(2)研修等	○学童クラブの運営主体は、学童クラブ支援員等の研修機会の確保や参加できる環境を整えている。	○	全ての支援員と補助員が研修に2回以上参加できるよう、シフト等に配慮している。
		(3)運営内容の評価と改善	○学童クラブの運営主体は、子どもや保護者の意見を取り入れて自己評価を行い、その結果を公表し、事業内容の向上に生かしている。	△	限られた人員と費用の中で子どもや保護者の意見の全てを取り入れるのは難しい。	
第2章 事業の対象となる子どもの発達	1. 子どもの発達理解		○学童クラブ支援員等は、子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、育成支援を行っている。	○	子ども一人一人の特性・課題を十分に理解し、その子にあった支援、寄りそう支援を行っている。	

II 運営指針第3章、第5章に対応する項目

大区分	中区分	小区分	チェック項目	結果	コメント	
第3章 学童クラブにおける育成支援の内容	1. 育成支援の内容	(1) 育成支援の内容	○ 育成支援の内容について理解している。	○	育成支援の内容を理解し、日々の支援を行っている。	
		(2) 育成支援の留意点	○ 育成支援の留意点を理解し、支援を行っている。	○	子ども達の関係性、日々の遊びの内容などを明確にとらえ、適切な支援を行っている。	
	2. 障害のある子どもへの対応	(1) 障害のある子どもの受入れの考え方	○ 障害のある子どもの受入れの考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。	○	障害の有無にかかわらず、全ての子ども達を受け入れ、事前に保護者との面談を実施し、その子にあった支援を行っている。	
		(2) 障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点	○ 障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を理解し、育成支援を行っている。	○	保護者との連携を密にし、学童の活動が安心、安全に過ごすことが出来るように支援を心掛けている。	
	3. 特に配慮を必要とする子どもへの対応	(1) 児童虐待への対応	○ 児童虐待の早期発見の努力義務があることを理解し、保護者の不適切な養育や児童虐待が疑われる場合には、関係機関と連携し、適切に対応している。	○	子どもと接する中で、一人一人の変化を見逃さず、適切な機関との連携が出来るように意識をしながら取り組みを行っている。	
		(2) 特別な支援を必要とする子どもへの対応	○ 家庭での養育について特別な支援が必要な子どもには、関係機関と連携して適切に支援を行っている。	○	特別な支援が必要であるということを早期に捉え、適切な支援につなげることが出来るよう日々適切な支援を行っている。	
		(3) 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たっての留意事項	○ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たっては、プライバシーの保護や秘密保持に留意している。	○	プライバシー保護を重視し、他の子ども達に分らないような配慮を行っている。	
	4. 保護者との連携	(1) 保護者との連絡	○ 各種連絡手段を活用して、子どもの出席、遊びや生活の様子について保護者と情報を共有している。	○	連絡アプリの活用、お迎えの時などを利用して情報の交換を行い、子ども理解に努めている。	
		(2) 保護者からの相談への対応	○ 保護者と信頼関係を築き、相談に適切に対応している。	○	お迎え時の保護者とのコミュニケーションを積極的に取り、信頼関係の構築に努めている。	
		(3) 保護者及び保護者組織との連携	○ 保護者との協力関係を構築するとともに、保護者組織と連携している。	○	スムーズな運営ができるように、役員会の中で提案、相談し連携を図っている。	
	5. 育成支援に含まれる職務内容と運営に関わる業務	(1) 育成支援に含まれる職務内容	○ 育成支援に係る職務を実施している。	○	月ごとの目標の反省をもとに、次月の目標を作成し、目標に向けて活動の計画、具現化を行っている。	
		(2) 運営に関わる業務	○ 運営に関わる業務を実施している。	○	運営にかかわる業務を支援員同士で共有し、役割分担の明確化をして取り組んでいる。	
	第5章 学校及び地域との関係	1. 学校との連携	(1) 学校との連携	○ 情報交換や情報共有、学校施設の利用等、学校との連携を図っている。	○	課題を抱えている子どもの様子などの情報を交換し、子どもの所在の確認など学校との連携を図っている。
			(2) 学校との連携におけるプライバシーの保護	○ 学校との連携にあたって、個人情報や秘密保持について予め取り決めている。	×	具体的な取り組みを行ってはいないが、個人情報、秘密の保持は特段の配慮をしている。
2. 保育園、幼稚園等との連携		○ 情報交換や情報共有等、保育園・幼稚園等との連携を図っている。	×	特に配慮が必要な子の情報は、法人を通して情報の共有を行っているが全員ではない。		
3. 地域、関係機関との連携		○ 地域組織や子どもに関わる関係機関等との連携を図っている。	×	関係機関を利用することはなかったが、地域組織との連携が取れるようになる。		
4. 学校、公共施設(地区会館等)を活用して実施する学童クラブ		(1) 学校施設を活用して実施する学童クラブ	○ 学校施設を活用して学童クラブを実施する上での留意事項を理解し、適切に対応している。	-		
(2) 地区会館等を活用して実施する学童クラブ	○ 地区会館等を活用して学童クラブを実施する上での留意事項を理解し、適切に対応している。	-				

III 運営指針第6章2に対応する項目

大区分	中区分	小区分	結果	コメント
第6章 施設及び設備、 衛生管理及び 安全対策	2. 衛生管理 及び安全対策	(1) 衛生管理	○	衛生管理を徹底し、感染症の流行時期にはこども達への声掛け、対応などが適切にできるように業務を行っている。
		(2) 事故やケガの防止と対応	○	外遊びなどでは、事故、ケガの防止を徹底し、安全管理マニュアルにそった対応を実施している。
		(3) 防災及び防犯対策	○	安全計画に基づき、防犯訓練・火災、地震時の避難訓練を実施している。
		(4) 来所及び帰宅時の安全確保	○	来所をアプリで確認し、業務マニュアルに沿って子どもの所在の確認が取れるように安全面の配慮をしている。

IV 運営指針第4章、第6章1に対応する項目

大区分	中区分	小区分	チェック項目	結果	コメント
第6章 施設及び設備、 衛生管理及び 安全対策	1. 施設及び 設備	(1) 施設	○学童クラブとして求められる機能を備えた施設(専用区画)を有している。	○	有している。
		(2) 設備、備品等	○学童クラブとして求められる機能を満たすための設備や備品等を有している。	○	必要な備品、設備は整えている。
第4章 学童クラブの運 営	1. 職員体制	(1) 職員配置	○支援の単位ごとに2人以上の学童クラブ支援員を置いている。	○	基準通りの支援員は配置されているが、活動の内容によっては人数を増やしての活動もある。
		(2) 育成支援の実施	○支援の単位ごとに育成支援を行っている。	○	単独で活動室を設け育成支援を行っている。
		(3) 学童クラブ支援員の雇用形態	○学童クラブ支援員を長期的に安定した形態で雇用している。	○	安定した雇用ができるように運営している。
		(4) 勤務時間	○学童クラブ支援員等の勤務時間を、開所時間の前後に必要な時間を前提として設定している。	○	開設準備の時間や日々の記録作成の時間も含めて勤務時間としている。
	2. 子ども集団の規模(支援の単位)	○適切な子ども数の規模の範囲(おおむね40人以下)で運営している。	○	定員の範囲内で運営している。	
	3. 開所時間及び開所日	○開所時間及び開所日を適切に設定している。	○	決められた基準に従って適切に設定している。	
	4. 利用開始等に関わる留意事項	○利用開始や退所に関わる留意事項を理解し、適切に対応している。	○	学童の決まりを利用前に面談の中で理解を求め、齟齬がないように適切に対応している。	
	5. 運営主体	(1) 運営主体の要件	○安定した経営基盤と運営体制を有し、子どもの健全育成や地域の実情についての理解を十分に有する主体が、学童クラブを運営している。	○	安定した運営ができるよう努めている。
		(2) 運営上の留意事項	○学童クラブの運営主体は、設備運営基準に定められた運営上の留意事項を理解し、運営している。	○	学童クラブ業務マニュアルに従って各学童クラブが運営されるよう指導している。
	6. 労働環境整備	○学童クラブの運営主体は、学童クラブ支援員等の労働環境を適切に整備している。	○	支援員等の労働環境が安定するよう整備に努めている。	
	7. 適正な会計管理及び 情報公開	(1) 会計管理	○学童クラブの運営主体は、適正な会計管理を行っている。	○	市からの委託費や補助金について、適切に管理している。
		(2) 情報公開	○学童クラブの運営主体は、会計処理や運営状況について情報公開している。	○	運営主体である学校法人の評議員会において運営状況等を報告をしている。